

令和7年2月28日
北九州市保健福祉局
総務市民局

「認知症支援・介護予防に関する意識調査」を行いました
～令和6年度第7回市政モニターアンケート～

- 1 調査案件
第7回「認知症支援・介護予防に関する意識調査」
(保健福祉局認知症支援介護予防課)

- 2 公表資料
第7回「認知症支援・介護予防に関する意識調査」
(保健福祉局認知症支援介護予防課)
⇒ 結果概要及び調査報告書(別添のとおり)

- 3 参考資料
「市政モニター制度」について(別添のとおり)

【問い合わせ先】

- 調査案件の内容について
《第7回》「認知症支援・介護予防に関する意識調査」
保健福祉局認知症支援介護予防課
093-582-2063 林・山内

- 市政モニター制度について
総務市民局広聴課
093-582-2527 中野・相良

市政モニターに関すること 総務市民局広聴課 担当:中野、相良 TEL:582-2527	アンケート内容に関すること 保健福祉局認知症支援・介護予防課 担当:林、山内 TEL:582-2063
--	--

令和7年2月28日

令和6年度 第7回市政モニターアンケート
 「認知症支援・介護予防に関する意識調査」
 結果概要

本市では、認知症支援・介護予防に関する取り組みをしています。
 そこで、今後の取り組みの参考とするため、認知症支援・介護予防についてのアンケート調査を実施しました。

I 調査概要

調査対象者 市政モニター96人(うち、回答者74人 回収率77.1%)
 調査実施日 令和6年12月6日～令和6年12月16日
 実施方法 インターネット調査

II 調査結果概要

(1)北九州市の高齢化について

政令指定都市の中で、北九州市が最も高齢化率が高いことを「知っている」は 85.1%です。前回の令和5年度は、「知っている」が 79.0%のため、認知度が上昇していることが分かります。

(2)認知症について

市が行っている認知症事業の認知度は「認知症サポーター養成講座」が 35.1%で最も多く、次いで「認知症カフェ」(31.1%)、「高齢者見守りサポーター派遣事業」(20.3%)となっています。「認知症カフェ」を知っている方で、実際に「利用したことがある」方は 8.7%と 1 割に満たない状況です。

市が行っている交流会の認知度は、「認知症ご本人交流会」が 20.3%、「認知症・若年性認知症介護家族交流会」が 17.6%となっています。

市が行っている認知症高齢者の安全確保事業の認知度は、「北九州市見守りシール交付事業」が 17.6%で最も多く、次いで「認知症行方不明者等SOSネットワークシステム」(16.2%)、「認知症高齢者等位置探索サービス事業」(12.2%)となっています。

認知症に関する相談窓口の認知度は、「ものわすれ外来」が 73.0%で最も多く、次いで「かかりつけ医」(55.4%)、「地域包括支援センター」(44.6%)という結果となりました。

「どこに相談してよいかわからない」という回答は 10.8%ですが、女性は 4.9%であるのに対して、男性は 18.2%と 2 割近くに達しており、男性への周知啓発の取り組みが必要と考えられます。

高齢者の増加とともに、認知症高齢者も増えてくることが想定されるなかで、認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活していくためには、家族だけではなく、地域全体で認知症の方を見守り、支えていく体制を構築していくことが重要であり、事業の周知啓発に、今後より一層取り組む必要があると考えられます。

(3)健康づくりや介護予防(フレイル予防)について

フレイルとは、『加齢に伴い体力や社会性が低下しているが、適切な対応で元に戻ることが可能な状態』という補足を入れたうえで、フレイルについて尋ねたところ、「内容も言葉も知っている」方が 28.4%、「内容も言葉も知らない」が 51.4%と過半数を占め、認知度が高いとは言えないことが分かりました。

前回の令和5年度は、「内容も言葉も知っている」が 33.6%のため、認知度が低下していることが分かります。

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に関する情報入手先は、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が 54.1%で最も多く、次いで「インターネット(Web 記事や SNS など)」(48.6%)となっています。今後は情報源であるマス・メディアやインターネット(Web 記事や SNS など)等を活用して、一層、周知啓発に力を入れることが必要と考えられます。

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に、インターネットやスマートフォンアプリ、介護ロボットなどを「実際に活用したことがある」方は 2.7%と非常に少ない結果となりました。ただし、「知らないが興味はある」方は 45.9%あり、関心は高いことが伺われます。

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に取り組んでいる方は 43.2%で、前回の令和5年度(41.3%)から増加していることが分かります。

なお、具体的な取り組み内容では、「定期的に健康診断を受けている」が 65.6%で最も多く、「栄養バランスのとれた食事をとっている」(56.3%)、「一人で公園で体操をしたり、ウォーキングなどを行っている」「口や歯の手入れをこまめに行っている」(同率 53.1%)となっています。

「特に取り組んでいない」理由では、「時間的な余裕がない」が 47.6%で最も多く、次いで「どのようなことに取り組んだらよいか分からない」(38.1%)となっています

隙間時間で実施できる健康づくりや介護予防(フレイル予防)に役立つ運動の方法など、具体的な情報を提供していくことも必要であると考えられます。

市が行う健康づくり・介護予防(フレイル予防)事業に望むことでは、「自分の健康状態や認知機能の状態をチェックする場や機会の充実」が 64.9%で最も多く、次いで「市民センターなど身近な地域で気軽に参加できる場や機会の充実」(58.1%)となっており、身近な場所で、自身の健康や認知機能をチェックできるような住民参加型のイベントが求められていることが伺われます。

令和6年度
第7回市政モニターアンケート

「認知症支援・介護予防に関する意識調査」

総務市民局広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
【北九州市の高齢化について】	
(1) 北九州市の高齢化について	2
【認知症について】	
(2) 市が行っている認知症事業について	3
(3) 認知症高齢者等の安全確保事業について	8
(4) 認知症に関する相談窓口について	9
【健康づくりや介護予防(フレイル予防)について】	
(5) フレイルについて	11
(6) 健康づくりや介護予防(フレイル予防)に関する情報について	12
(7) 健康づくりや介護予防(フレイル予防)の取り組みについて	15
(8) 市が行う今後の健康づくり・介護予防(フレイル予防)事業について	20
(9) 認知症支援・介護予防に関する意見	22
IV全体考察	25

I 調査の概要

調査対象者 市政モニター96人
 回答者数 74人(回収率77.1%)
 調査実施日 令和6年12月6日～令和6年12月16日
 実施方法 インターネット調査
 調査実施課 総務市民局広聴課 TEL582-2527
 調査依頼課 保健福祉局認知症支援・介護予防課 TEL582-2063

II 市政モニターの構成

	合計	男性	女性		合計	男性	女性
全体	96 (100.0%)	41 (42.7%)	55 (57.3%)	区 別			
10歳代	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	門司区	8 (8.3%)	5 (5.2%)	3 (3.1%)
20歳代	6 (6.3%)	0 (0.0%)	6 (6.3%)	小倉北区	25 (26.0%)	13 (13.5%)	12 (12.5%)
30歳代	15 (15.6%)	6 (6.3%)	9 (9.4%)	小倉南区	22 (22.9%)	8 (8.3%)	14 (14.6%)
40歳代	24 (25.0%)	8 (8.3%)	16 (16.7%)	若松区	5 (5.2%)	3 (3.1%)	2 (2.1%)
50歳代	14 (14.6%)	5 (5.2%)	9 (9.4%)	八幡東区	13 (13.5%)	7 (7.3%)	6 (6.3%)
60歳代	24 (25.0%)	13 (13.5%)	11 (11.5%)	八幡西区	16 (16.7%)	3 (3.1%)	13 (13.5%)
70歳以上	13 (13.5%)	9 (9.4%)	4 (4.2%)	戸畑区	7 (7.3%)	2 (2.1%)	5 (5.2%)

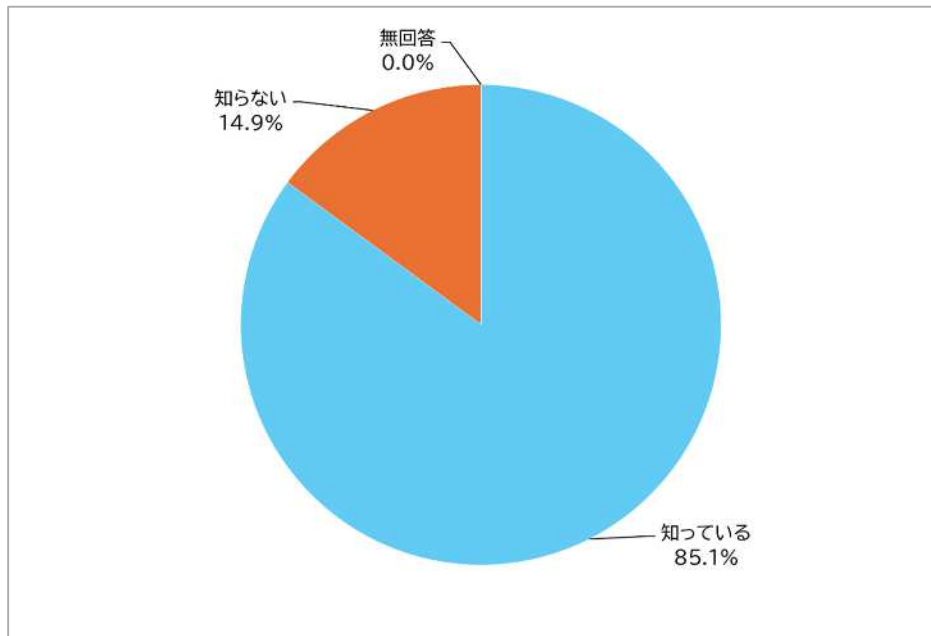
※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としており、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

※ 年代は令和6年4月1日時点でのものです。

Ⅲ 調査結果

北九州市の高齢化について

問1 本市は政令指定都市の中で最も高齢化率が高いということを知っていますか。



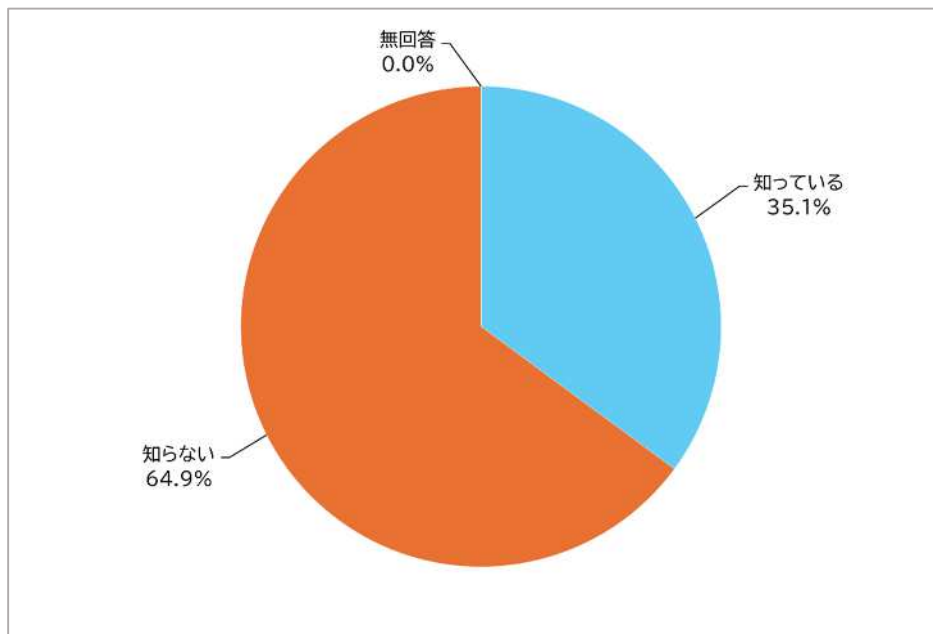
		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		74人	85.1%	14.9%	0.0%
性別	男性	33人	93.9%	6.1%	0.0%
	女性	41人	78.0%	22.0%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	100.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	11人	90.9%	9.1%	0.0%
	40歳代	18人	83.3%	16.7%	0.0%
	50歳代	13人	92.3%	7.7%	0.0%
	60歳代	18人	66.7%	33.3%	0.0%
	70歳以上	10人	100.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	7人	71.4%	28.6%	0.0%
	小倉北区	17人	88.2%	11.8%	0.0%
	小倉南区	19人	84.2%	15.8%	0.0%
	若松区	4人	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	9人	88.9%	11.1%	0.0%
	八幡西区	13人	84.6%	15.4%	0.0%
	戸畑区	5人	80.0%	20.0%	0.0%

政令指定都市の中で、北九州市が最も高齢化率が高いことについて、「知っている」が85.1%、「知らない」が14.9%でした。

認知症について

(市が行っている認知症事業について)

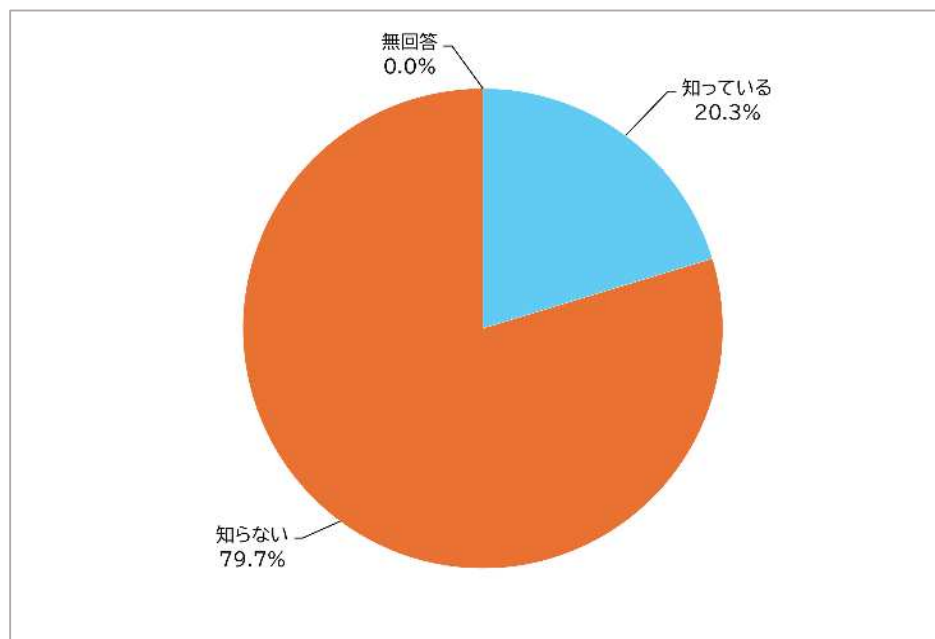
問2 あなたは認知症サポーター養成講座を知っていますか。



		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		74人	35.1%	64.9%	0.0%
性別	男性	33人	27.3%	72.7%	0.0%
	女性	41人	41.5%	58.5%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	50.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	11人	45.5%	54.5%	0.0%
	40歳代	18人	50.0%	50.0%	0.0%
	50歳代	13人	30.8%	69.2%	0.0%
	60歳代	18人	16.7%	83.3%	0.0%
	70歳以上	10人	30.0%	70.0%	0.0%
区別	門司区	7人	28.6%	71.4%	0.0%
	小倉北区	17人	29.4%	70.6%	0.0%
	小倉南区	19人	36.8%	63.2%	0.0%
	若松区	4人	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡東区	9人	44.4%	55.6%	0.0%
	八幡西区	13人	38.5%	61.5%	0.0%
	戸畑区	5人	40.0%	60.0%	0.0%

「認知症サポーター養成講座」について、「知っている」が 35.1%、「知らない」が 64.9%でした。

問3 高齢者見守りサポーター派遣事業を知っていますか。

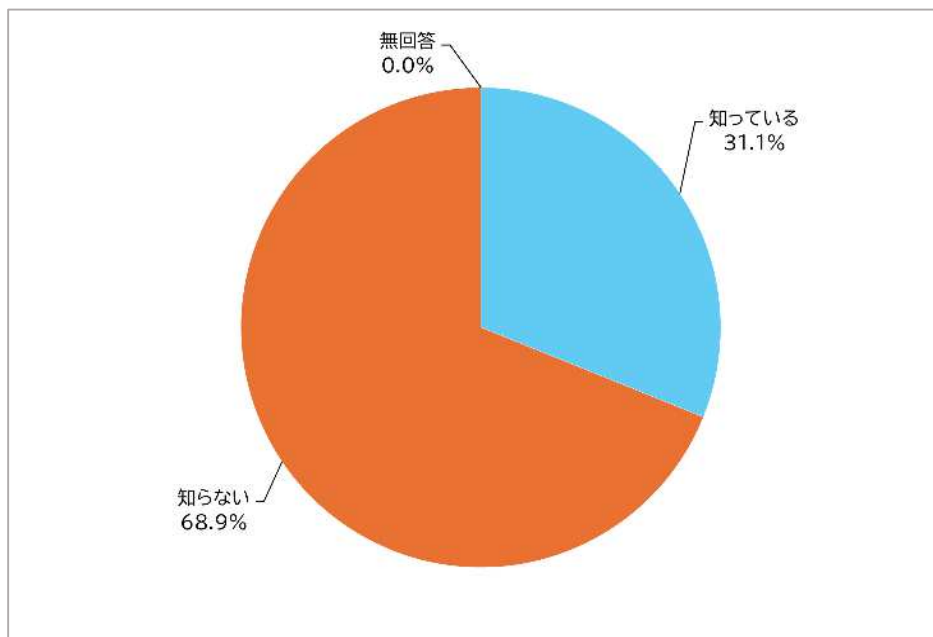


		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		74人	20.3%	79.7%	0.0%
性別	男性	33人	15.2%	84.8%	0.0%
	女性	41人	24.4%	75.6%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	11人	27.3%	72.7%	0.0%
	40歳代	18人	27.8%	72.2%	0.0%
	50歳代	13人	23.1%	76.9%	0.0%
	60歳代	18人	11.1%	88.9%	0.0%
	70歳以上	10人	20.0%	80.0%	0.0%
区別	門司区	7人	14.3%	85.7%	0.0%
	小倉北区	17人	17.6%	82.4%	0.0%
	小倉南区	19人	31.6%	68.4%	0.0%
	若松区	4人	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡東区	9人	22.2%	77.8%	0.0%
	八幡西区	13人	15.4%	84.6%	0.0%
	戸畑区	5人	0.0%	100.0%	0.0%

「高齢者見守りサポーター派遣事業」について、「知っている」が 20.3%、「知らない」が 79.7%でした。

性別で見ると、知っている方は男性 15.2%、女性 24.4%で、女性の方が多いことが分かります。

問4 認知症カフェを知っていますか。

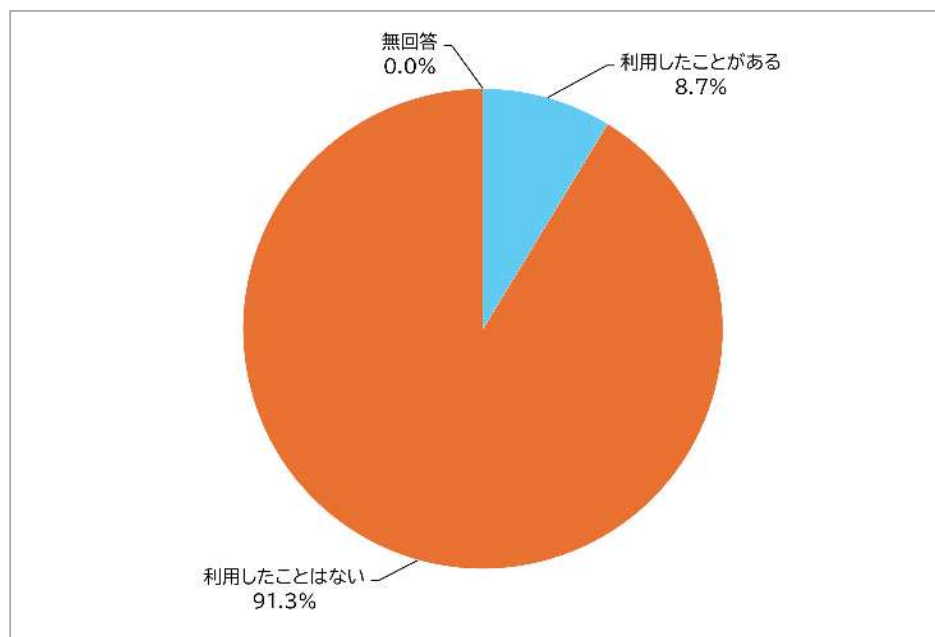


		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		74人	31.1%	68.9%	0.0%
性別	男性	33人	18.2%	81.8%	0.0%
	女性	41人	41.5%	58.5%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	25.0%	75.0%	0.0%
	30歳代	11人	45.5%	54.5%	0.0%
	40歳代	18人	38.9%	61.1%	0.0%
	50歳代	13人	38.5%	61.5%	0.0%
	60歳代	18人	22.2%	77.8%	0.0%
	70歳以上	10人	10.0%	90.0%	0.0%
区別	門司区	7人	14.3%	85.7%	0.0%
	小倉北区	17人	35.3%	64.7%	0.0%
	小倉南区	19人	42.1%	57.9%	0.0%
	若松区	4人	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡東区	9人	44.4%	55.6%	0.0%
	八幡西区	13人	23.1%	76.9%	0.0%
	戸畑区	5人	0.0%	100.0%	0.0%

「認知症カフェ」について、「知っている」が31.1%、「知らない」が68.9%でした。年代別でみると、知らない方は70代で90.0%と最も多いことが分かります。

<問4で「知っている」と回答された方にお尋ねします。>

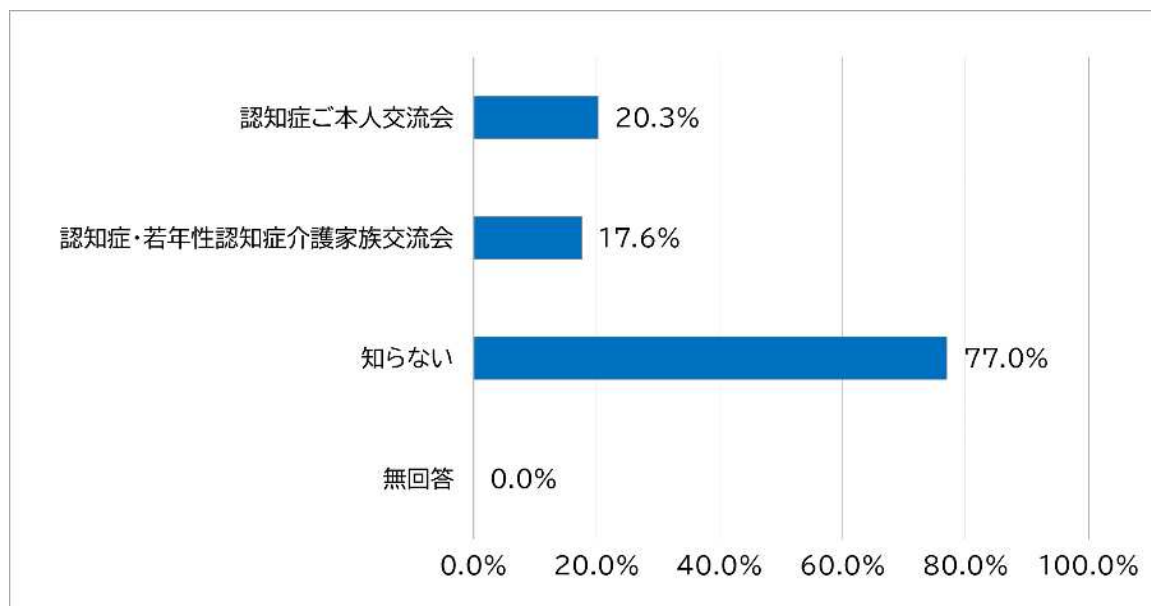
問5 認知症カフェを利用したことがありますか。



		回答者数	利用したことがある	利用したことはない	無回答
全体		23人	8.7%	91.3%	0.0%
性別	男性	6人	0.0%	100.0%	0.0%
	女性	17人	11.8%	88.2%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	1人	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	5人	0.0%	100.0%	0.0%
	40歳代	7人	14.3%	85.7%	0.0%
	50歳代	5人	20.0%	80.0%	0.0%
	60歳代	4人	0.0%	100.0%	0.0%
	70歳以上	1人	0.0%	100.0%	0.0%
区別	門司区	1人	0.0%	100.0%	0.0%
	小倉北区	6人	0.0%	100.0%	0.0%
	小倉南区	8人	12.5%	87.5%	0.0%
	若松区	1人	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡東区	4人	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡西区	3人	33.3%	66.7%	0.0%
	戸畑区	0人	0.0%	0.0%	0.0%

「認知症カフェ」を知っている方で、実際に「利用したことがある」は 8.7%、「利用したことはない」が 91.3%でした。「認知症カフェ」を知っていても、実際の利用には繋がっていない状況です。

問 6 あなたが知っている交流会をすべて選択してください。(複数回答)



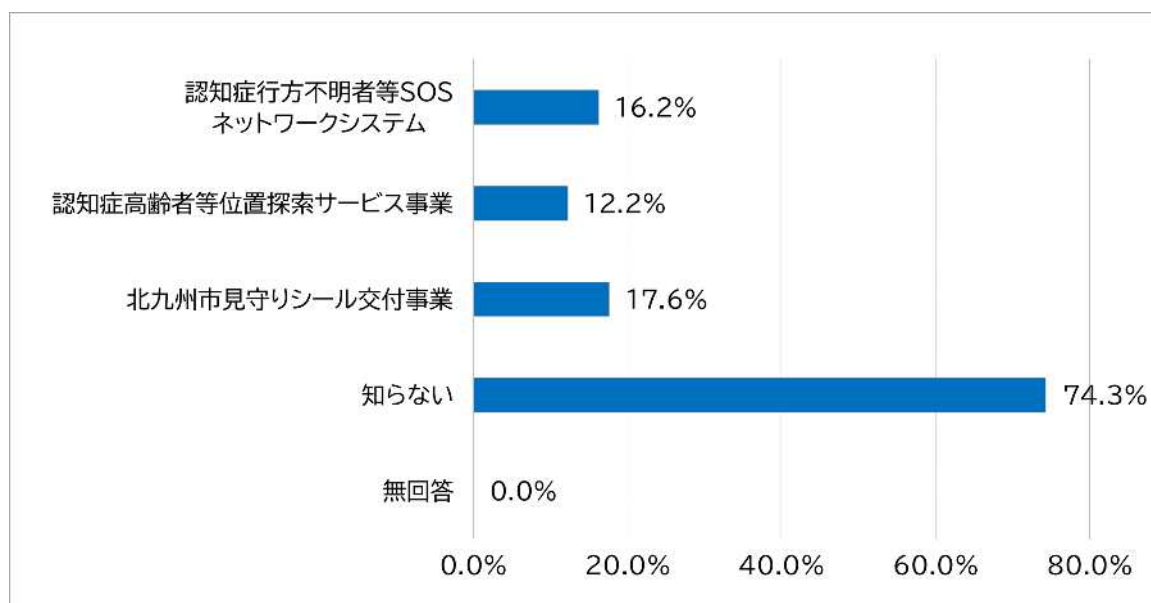
		回答者数	認知症ご本人交流会	認知症・若年性認知症介護家族交流会	知らない	無回答
全体		74人	20.3%	17.6%	77.0%	0.0%
性別	男性	33人	15.2%	15.2%	84.8%	0.0%
	女性	41人	24.4%	19.5%	70.7%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	30歳代	11人	18.2%	18.2%	72.7%	0.0%
	40歳代	18人	33.3%	27.8%	66.7%	0.0%
	50歳代	13人	23.1%	30.8%	69.2%	0.0%
	60歳代	18人	11.1%	5.6%	88.9%	0.0%
	70歳以上	10人	10.0%	0.0%	90.0%	0.0%
区別	門司区	7人	14.3%	14.3%	85.7%	0.0%
	小倉北区	17人	23.5%	17.6%	76.5%	0.0%
	小倉南区	19人	26.3%	26.3%	68.4%	0.0%
	若松区	4人	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	八幡東区	9人	22.2%	33.3%	66.7%	0.0%
	八幡西区	13人	15.4%	7.7%	84.6%	0.0%
	戸畑区	5人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

市が行っている交流会の認知度について、「認知症ご本人交流会」が20.3%、「認知症・若年性認知症介護家族交流会」が17.6%となっています。

「知らない」が77.0%であり、いずれの交流会も認知度が低いという結果となりました。

(認知症高齢者等の安全確保事業について)

問7 認知症高齢者等の安全確保に関する事業として、あなたが知っているものすべてを選択してください。(複数回答)

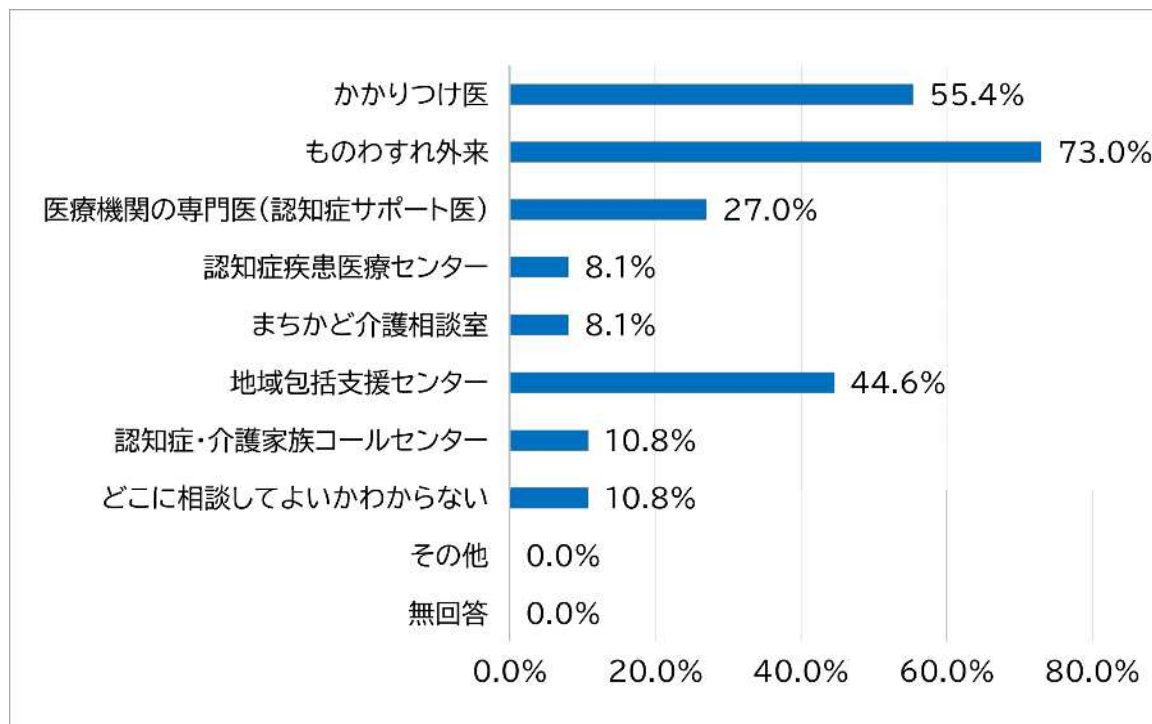


		回答者数	認知症行方不明者等SOSネットワークシステム	認知症高齢者等位置探索サービス事業	北九州市見守りシール交付事業	知らない	無回答
全体		74人	16.2%	12.2%	17.6%	74.3%	0.0%
性別	男性	33人	9.1%	12.1%	12.1%	81.8%	0.0%
	女性	41人	22.0%	12.2%	22.0%	68.3%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	25.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	30歳代	11人	9.1%	0.0%	18.2%	81.8%	0.0%
	40歳代	18人	22.2%	22.2%	22.2%	66.7%	0.0%
	50歳代	13人	15.4%	15.4%	15.4%	69.2%	0.0%
	60歳代	18人	11.1%	11.1%	16.7%	77.8%	0.0%
	70歳以上	10人	20.0%	10.0%	10.0%	80.0%	0.0%
区別	門司区	7人	14.3%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%
	小倉北区	17人	23.5%	11.8%	23.5%	70.6%	0.0%
	小倉南区	19人	15.8%	15.8%	21.1%	73.7%	0.0%
	若松区	4人	25.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡東区	9人	11.1%	11.1%	22.2%	66.7%	0.0%
	八幡西区	13人	15.4%	7.7%	7.7%	84.6%	0.0%
	戸畑区	5人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

認知症高齢者等の安全確保に関する事業の認知度は、「北九州市見守りシール交付事業」が 17.6%、「認知症行方不明者等SOSネットワークシステム」が 16.2%、「認知症高齢者等位置探索サービス事業」が 12.2%、「知らない」が 74.3%となっています。

(認知症に関する相談窓口について)

問8 認知症に関する相談窓口として、あなたが知っているものを全て選択してください。(複数選択可)



		回答者数	かかりつけ医	ものわすれ外来	医療機関の専門医(認知症サポート医)	認知症疾患医療センター	まちかど介護相談室
全体		74人	55.4%	73.0%	27.0%	8.1%	8.1%
性別	男性	33人	60.6%	63.6%	33.3%	12.1%	9.1%
	女性	41人	51.2%	80.5%	22.0%	4.9%	7.3%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	30歳代	11人	63.6%	72.7%	27.3%	9.1%	9.1%
	40歳代	18人	38.9%	94.4%	22.2%	11.1%	11.1%
	50歳代	13人	46.2%	61.5%	15.4%	7.7%	7.7%
	60歳代	18人	61.1%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	10人	70.0%	70.0%	40.0%	20.0%	10.0%
区別	門司区	7人	57.1%	85.7%	28.6%	14.3%	0.0%
	小倉北区	17人	58.8%	76.5%	41.2%	17.6%	11.8%
	小倉南区	19人	47.4%	73.7%	21.1%	5.3%	5.3%
	若松区	4人	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	八幡東区	9人	77.8%	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%
	八幡西区	13人	53.8%	84.6%	15.4%	0.0%	7.7%
	戸畑区	5人	40.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%

(次ページへ続く)

	回答者数	地域包括支援センター	認知症・介護家族コールセンター	どこに相談してよいかわからない	その他	無回答	
全体	74人	44.6%	10.8%	10.8%	0.0%	0.0%	
性別	男性	33人	36.4%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%
	女性	41人	51.2%	12.2%	4.9%	0.0%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	11人	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%
	40歳代	18人	55.6%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
	50歳代	13人	69.2%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%
	60歳代	18人	33.3%	5.6%	16.7%	0.0%	0.0%
	70歳以上	10人	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	7人	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	17人	35.3%	17.6%	11.8%	0.0%	0.0%
	小倉南区	19人	47.4%	5.3%	21.1%	0.0%	0.0%
	若松区	4人	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	9人	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	13人	46.2%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
	戸畑区	5人	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

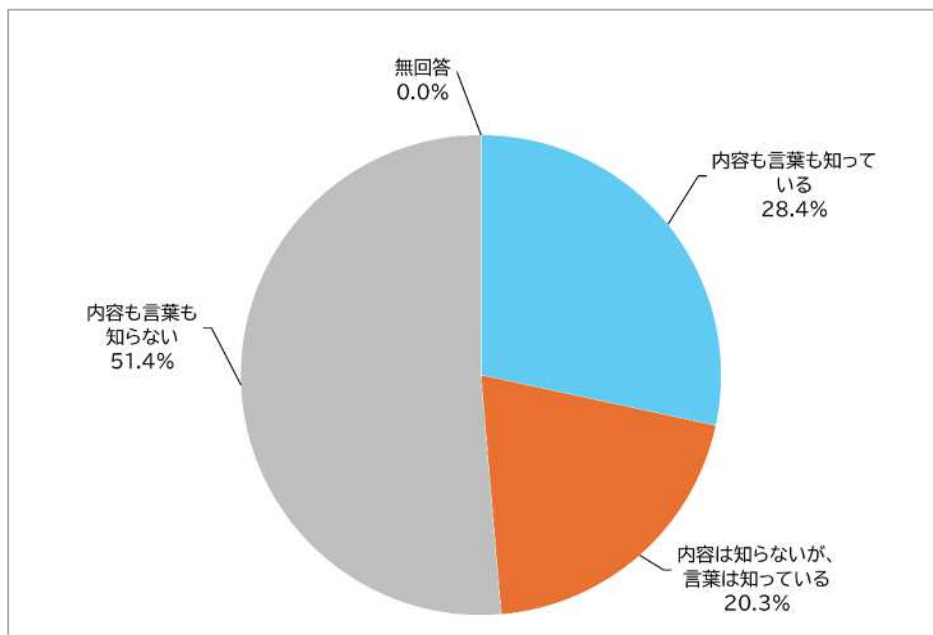
認知症に関する相談窓口の認知度では、「ものわすれ外来」が 73.0%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が 55.4%、「地域包括支援センター」が 44.6%となっています。

性別にみると、「ものわすれ外来」「地域包括支援センター」は女性の方で認知度が高く、「かかりつけ医」、「医療機関の専門医（認知症サポート医）」は、男性の方で認知度が高くなっています。「どこに相談してよいかわからない」は男性 18.2%、女性 4.9%となっており、相談先の見当がつかない方は男性に多いことが分かります。

健康づくりや介護予防(フレイル予防)について

(フレイルについて)

問9 フレイルについて知っていますか。



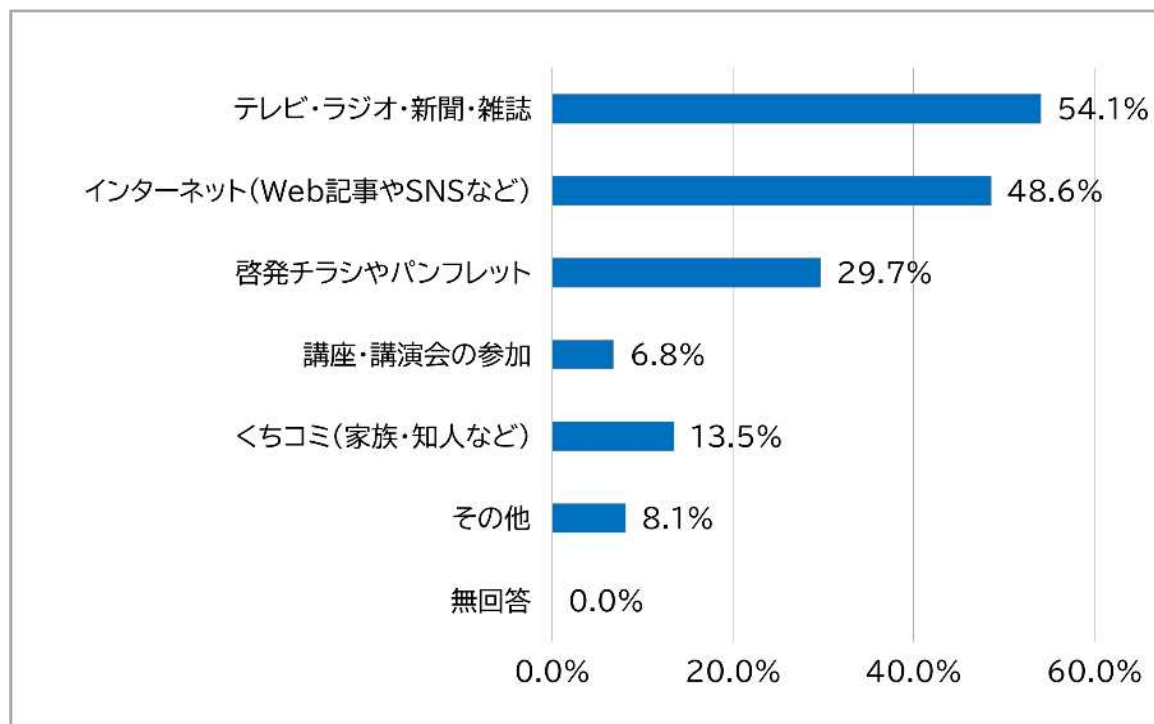
		回答者数	内容も言葉も知っている	内容は知らないが、言葉は知っている	内容も言葉も知らない	無回答
全体		74人	28.4%	20.3%	51.4%	0.0%
性別	男性	33人	30.3%	21.2%	48.5%	0.0%
	女性	41人	26.8%	19.5%	53.7%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	30歳代	11人	36.4%	27.3%	36.4%	0.0%
	40歳代	18人	22.2%	16.7%	61.1%	0.0%
	50歳代	13人	23.1%	15.4%	61.5%	0.0%
	60歳代	18人	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
	70歳以上	10人	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%
区別	門司区	7人	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%
	小倉北区	17人	23.5%	17.6%	58.8%	0.0%
	小倉南区	19人	26.3%	10.5%	63.2%	0.0%
	若松区	4人	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	9人	44.4%	11.1%	44.4%	0.0%
	八幡西区	13人	30.8%	23.1%	46.2%	0.0%
	戸畑区	5人	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%

フレイルについては、「内容も言葉も知っている」が 28.4%、「内容は知らないが、言葉は知っている」が 20.3%、「内容も言葉も知らない」が 51.4%でした。

(健康づくりや介護予防(フレイル予防)に関する情報について)

問 10 健康づくりや介護予防(フレイル予防)に関する情報を何から得ていますか。

(複数回答)



		回答者数	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	インターネット(Web記事やSNSなど)	啓発チラシやパンフレット	講座・講演会の参加	くちコミ(家族・知人など)
全体		74人	54.1%	48.6%	29.7%	6.8%	13.5%
性別	男性	33人	51.5%	60.6%	24.2%	6.1%	9.1%
	女性	41人	56.1%	39.0%	34.1%	7.3%	17.1%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	11人	72.7%	54.5%	18.2%	18.2%	9.1%
	40歳代	18人	61.1%	50.0%	22.2%	11.1%	16.7%
	50歳代	13人	30.8%	23.1%	46.2%	7.7%	30.8%
	60歳代	18人	61.1%	44.4%	33.3%	0.0%	5.6%
	70歳以上	10人	50.0%	80.0%	30.0%	0.0%	10.0%
区別	門司区	7人	57.1%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%
	小倉北区	17人	70.6%	47.1%	11.8%	11.8%	11.8%
	小倉南区	19人	52.6%	57.9%	36.8%	5.3%	5.3%
	若松区	4人	50.0%	50.0%	75.0%	0.0%	25.0%
	八幡東区	9人	55.6%	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%
	八幡西区	13人	46.2%	38.5%	30.8%	0.0%	23.1%
	戸畑区	5人	20.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%

(次ページへ続く)

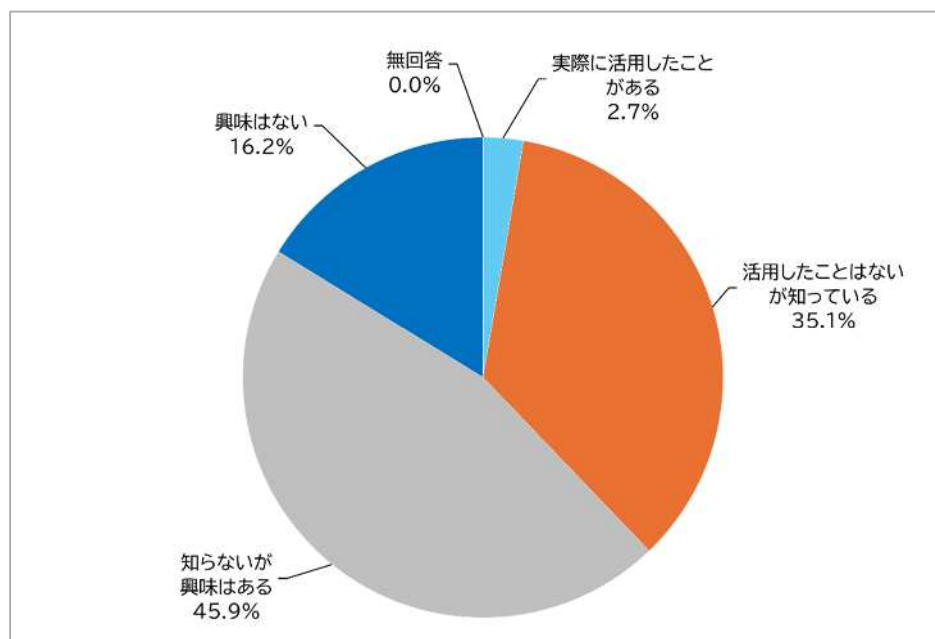
		回答者数	その他	無回答
全体		74人	8.1%	0.0%
性別	男性	33人	9.1%	0.0%
	女性	41人	7.3%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	25.0%	0.0%
	30歳代	11人	0.0%	0.0%
	40歳代	18人	0.0%	0.0%
	50歳代	13人	15.4%	0.0%
	60歳代	18人	11.1%	0.0%
	70歳以上	10人	10.0%	0.0%
区別	門司区	7人	14.3%	0.0%
	小倉北区	17人	11.8%	0.0%
	小倉南区	19人	5.3%	0.0%
	若松区	4人	0.0%	0.0%
	八幡東区	9人	11.1%	0.0%
	八幡西区	13人	7.7%	0.0%
	戸畑区	5人	0.0%	0.0%

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に関する情報を何から得ているかについては、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が 54.1%で最も多く、次いで「インターネット(Web 記事や SNS など)」が 48.6%、「啓発チラシやパンフレット」が 29.7%という結果になりました。

性別にみると、男性は「インターネット(Web 記事や SNS など)」が 60.6%で、最も多い情報入手経路となっています。女性は「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が最も多い情報入手経路となっています。

※その他の内容では「市政だより」、「フレイルを知らない」、「情報は得ていない」といった回答がありました。

問 11 フレイル予防にインターネットやスマートフォンアプリ、介護ロボットを活用したことはありますか。(複数回答)

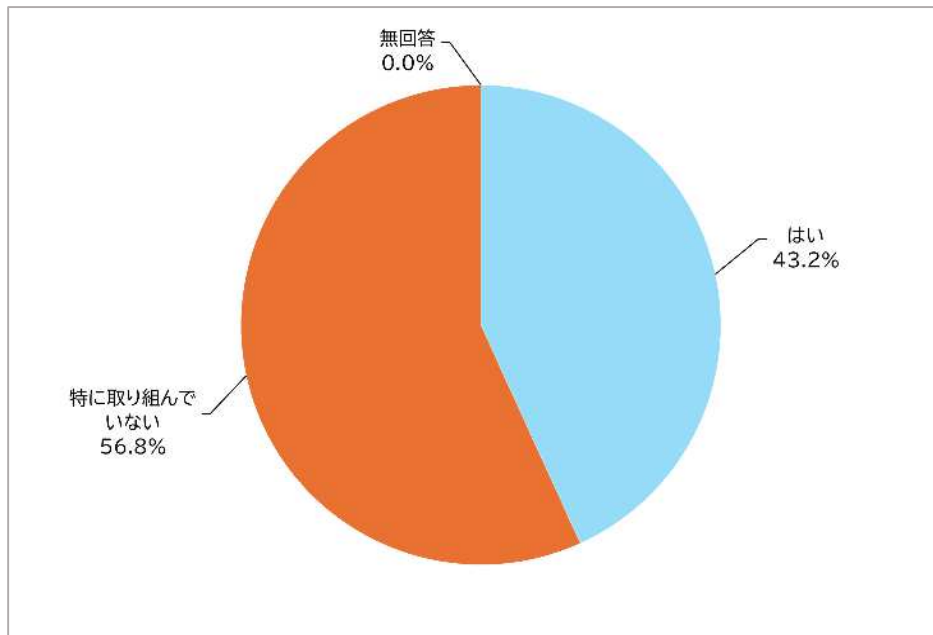


	回答者数	実際に活用したことがある	活用したことはないが知っている	知らないが興味はある	興味はない	無回答	
全体	74人	2.7%	35.1%	45.9%	16.2%	0.0%	
性別	男性	33人	3.0%	36.4%	51.5%	9.1%	0.0%
	女性	41人	2.4%	34.1%	41.5%	22.0%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	11人	0.0%	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%
	40歳代	18人	5.6%	38.9%	38.9%	16.7%	0.0%
	50歳代	13人	0.0%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%
	60歳代	18人	0.0%	38.9%	38.9%	22.2%	0.0%
	70歳以上	10人	10.0%	30.0%	40.0%	20.0%	0.0%
区別	門司区	7人	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%
	小倉北区	17人	0.0%	23.5%	52.9%	23.5%	0.0%
	小倉南区	19人	5.3%	42.1%	42.1%	10.5%	0.0%
	若松区	4人	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	9人	0.0%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%
	八幡西区	13人	0.0%	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%
	戸畑区	5人	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%

フレイル予防にインターネットやスマートフォンアプリ、介護ロボットを活用したことがあるかについては、「知らないが興味はある」が 45.9%で最も多く、「活用したことはないが知っている」が 35.1%、「実際に活用したことがある」が 2.7%で、実際に活用している方は少ない状況です。

(健康づくりや介護予防(フレイル予防)の取り組みについて)

問 12 健康づくりや介護予防(フレイル予防)に取り組んでいますか。



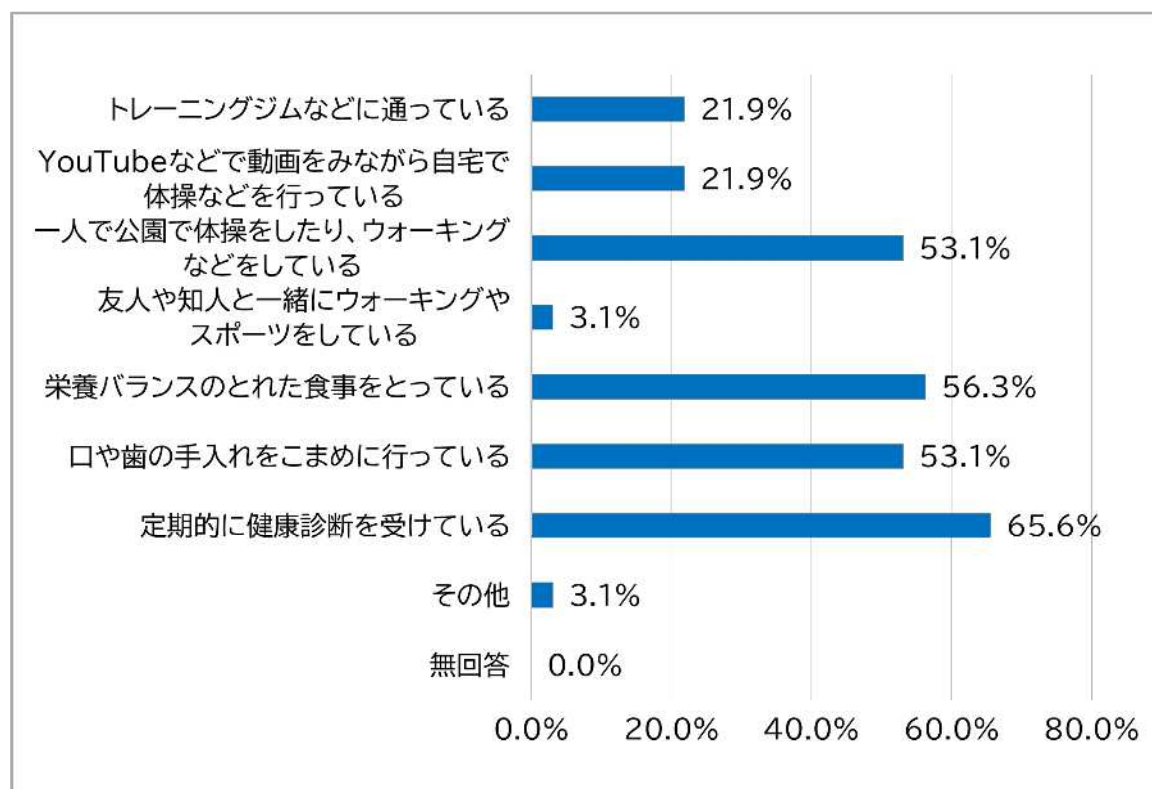
		回答者数	はい	特に取り組んでいない	無回答
全体		74人	43.2%	56.8%	0.0%
性別	男性	33人	51.5%	48.5%	0.0%
	女性	41人	36.6%	63.4%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	11人	54.5%	45.5%	0.0%
	40歳代	18人	61.1%	38.9%	0.0%
	50歳代	13人	23.1%	76.9%	0.0%
	60歳代	18人	38.9%	61.1%	0.0%
	70歳以上	10人	50.0%	50.0%	0.0%
区別	門司区	7人	57.1%	42.9%	0.0%
	小倉北区	17人	35.3%	64.7%	0.0%
	小倉南区	19人	52.6%	47.4%	0.0%
	若松区	4人	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡東区	9人	77.8%	22.2%	0.0%
	八幡西区	13人	23.1%	76.9%	0.0%
	戸畑区	5人	20.0%	80.0%	0.0%

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に取り組んでいるかについては、「はい」が43.2%、「特に取り組んでいない」が56.8%でした。

年代別にみると、「はい」と答えた方は、40代が61.1%と最も多いという結果となっています。

<問 12 で「はい」と回答された方にお尋ねします。>

問 13 具体的にどのようなことに取り組んでいますか。(複数回答可)



		回答者数	トレーニングジムなどに通っている	YouTubeなどで動画をみながら自宅で体操などを行っている	一人で公園で体操をしたり、ウォーキングなどを行っている	友人や知人と一緒にウォーキングやスポーツをしている	栄養バランスのとれた食事をとっている
全体		32人	21.9%	21.9%	53.1%	3.1%	56.3%
性別	男性	17人	17.6%	23.5%	58.8%	0.0%	70.6%
	女性	15人	26.7%	20.0%	46.7%	6.7%	40.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	6人	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	66.7%
	40歳代	11人	18.2%	27.3%	54.5%	0.0%	36.4%
	50歳代	3人	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%
	60歳代	7人	0.0%	14.3%	71.4%	0.0%	71.4%
	70歳以上	5人	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%
区別	門司区	4人	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	小倉北区	6人	33.3%	0.0%	50.0%	16.7%	66.7%
	小倉南区	10人	30.0%	40.0%	70.0%	0.0%	50.0%
	若松区	1人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	7人	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	71.4%
	八幡西区	3人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	66.7%
	戸畑区	1人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

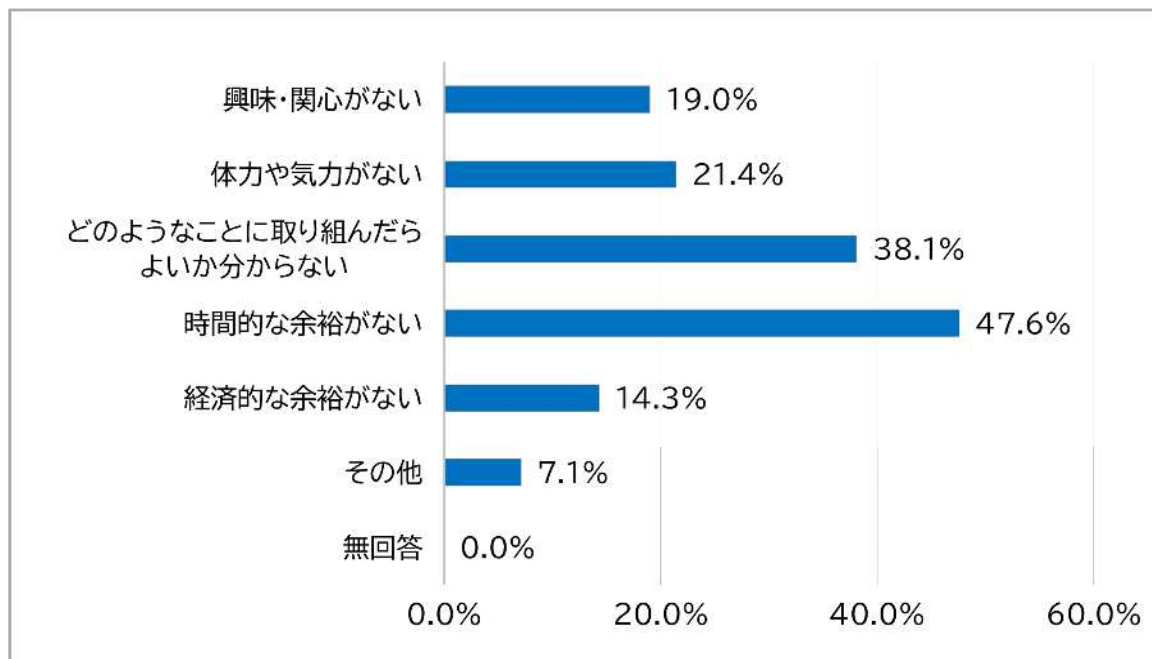
(次ページへ続く)

		回答者数	口や歯の手入れをこまめに行っている	定期的に健康診断を受けている	その他	無回答
	全体	32人	53.1%	65.6%	3.1%	0.0%
性別	男性	17人	52.9%	64.7%	0.0%	0.0%
	女性	15人	53.3%	66.7%	6.7%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	6人	83.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	40歳代	11人	36.4%	63.6%	9.1%	0.0%
	50歳代	3人	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	60歳代	7人	42.9%	85.7%	0.0%	0.0%
	70歳以上	5人	80.0%	60.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	4人	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	小倉北区	6人	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	小倉南区	10人	40.0%	70.0%	0.0%	0.0%
	若松区	1人	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	7人	57.1%	85.7%	0.0%	0.0%
	八幡西区	3人	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	戸畑区	1人	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

健康づくり(フレイル予防を含む)に取り組んでいる方の取り組み内容は、「定期的に健康診断を受けている」が 65.6%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとっている」が 56.3%、「一人で公園で体操をしたり、ウォーキングなどを行っている」「口や歯の手入れをこまめに行っている」が同率で 53.1%でした。

<問 12 で「いいえ」と回答された方にお尋ねします。>

問 14 取り組んでいない理由は何ですか。(複数回答可)



		回答者数	興味・関心がない	体力や気力がない	どのようなことに取り組んだらよいか分からない	時間的な余裕がない
全体		42人	19.0%	21.4%	38.1%	47.6%
性別	男性	16人	18.8%	12.5%	31.3%	37.5%
	女性	26人	19.2%	26.9%	42.3%	53.8%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	5人	0.0%	20.0%	40.0%	60.0%
	40歳代	7人	14.3%	14.3%	28.6%	85.7%
	50歳代	10人	10.0%	40.0%	70.0%	40.0%
	60歳代	11人	27.3%	18.2%	27.3%	45.5%
	70歳以上	5人	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%
区別	門司区	3人	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
	小倉北区	11人	0.0%	9.1%	36.4%	36.4%
	小倉南区	9人	22.2%	33.3%	55.6%	55.6%
	若松区	3人	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%
	八幡東区	2人	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	八幡西区	10人	20.0%	30.0%	40.0%	60.0%
	戸畑区	4人	75.0%	0.0%	50.0%	0.0%

(次ページへ続く)

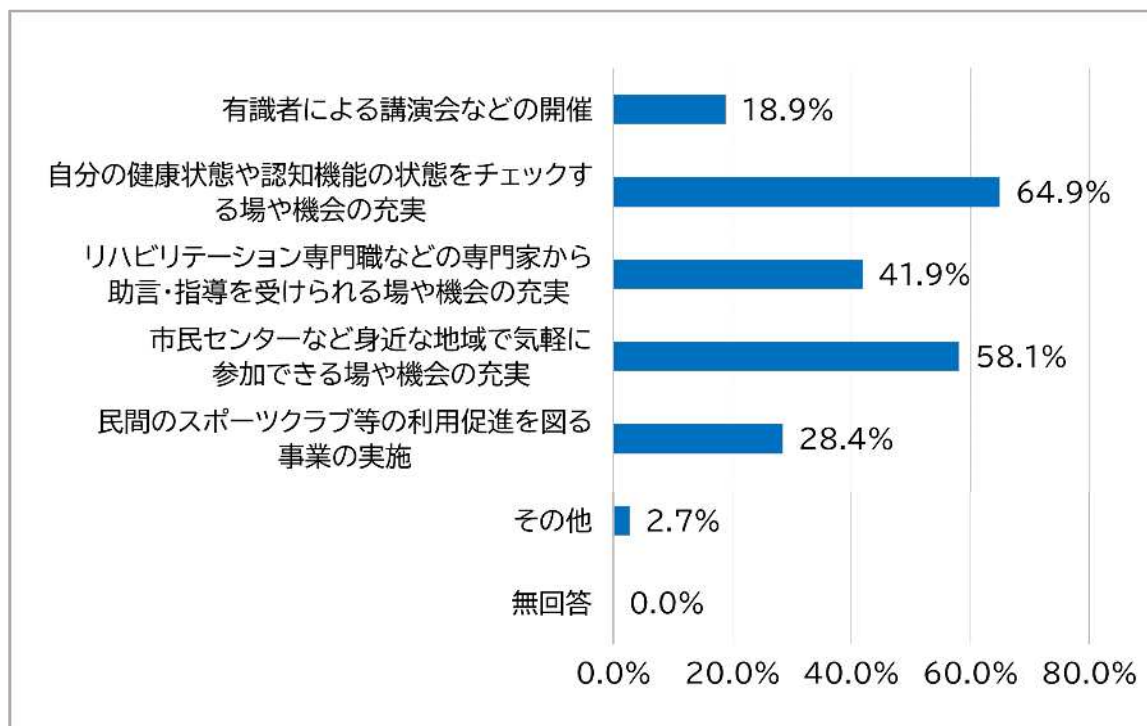
		回 答 者 数	経 済 的 な 余 裕 が な い	そ の 他	無 回 答
	全体	42人	14.3%	7.1%	0.0%
性 別	男性	16人	6.3%	12.5%	0.0%
	女性	26人	19.2%	3.8%	0.0%
年 代 別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	50.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	5人	40.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	7人	14.3%	14.3%	0.0%
	50歳代	10人	10.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	11人	0.0%	9.1%	0.0%
	70歳以上	5人	0.0%	20.0%	0.0%
区 別	門司区	3人	0.0%	33.3%	0.0%
	小倉北区	11人	18.2%	18.2%	0.0%
	小倉南区	9人	11.1%	0.0%	0.0%
	若松区	3人	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	2人	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	10人	30.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	4人	0.0%	0.0%	0.0%

健康づくり(フレイル予防を含む)に取り組んでいない方の取り組んでいない理由は、「時間的な余裕がない」が 47.6%で最も多く、次いで「どのようなことに取り組んだらよいか分からない」が 38.1%となっています。

※その他の内容では「まだ時間(的な余裕)がある」、「フレイルを知らない」、「分からない」などの回答がありました。

(市が行う今後の健康づくり・介護予防(フレイル予防)事業について)

問 15 市が行う健康づくり・介護予防(フレイル予防)事業に今後どのようなことを望みますか。(複数回答可)



		回答者数	有識者による講演会などの開催	自分の健康状態や認知機能の状態をチェックする場や機会の充実	リハビリテーション専門職などの専門家から助言・指導を受けられる場や機会の充実	市民センターなど身近な地域で気軽に参加できる場や機会の充実
全体		74人	18.9%	64.9%	41.9%	58.1%
性別	男性	33人	24.2%	78.8%	42.4%	60.6%
	女性	41人	14.6%	53.7%	41.5%	56.1%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	0.0%	75.0%	0.0%	75.0%
	30歳代	11人	27.3%	90.9%	36.4%	63.6%
	40歳代	18人	27.8%	50.0%	55.6%	55.6%
	50歳代	13人	23.1%	61.5%	46.2%	69.2%
	60歳代	18人	11.1%	72.2%	50.0%	44.4%
	70歳以上	10人	10.0%	50.0%	20.0%	60.0%
区別	門司区	7人	28.6%	71.4%	57.1%	57.1%
	小倉北区	17人	23.5%	70.6%	58.8%	58.8%
	小倉南区	19人	15.8%	52.6%	36.8%	57.9%
	若松区	4人	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%
	八幡東区	9人	33.3%	77.8%	44.4%	44.4%
	八幡西区	13人	15.4%	61.5%	30.8%	69.2%
	戸畑区	5人	0.0%	60.0%	40.0%	80.0%

(次ページへ続く)

		回答者数	民間のスポーツクラブ等の利用促進を図る事業の実施	その他	無回答
	全体	74人	28.4%	2.7%	0.0%
性別	男性	33人	30.3%	0.0%	0.0%
	女性	41人	26.8%	4.9%	0.0%
年代別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4人	50.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	11人	45.5%	0.0%	0.0%
	40歳代	18人	33.3%	5.6%	0.0%
	50歳代	13人	7.7%	0.0%	0.0%
	60歳代	18人	27.8%	5.6%	0.0%
	70歳以上	10人	20.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	7人	14.3%	0.0%	0.0%
	小倉北区	17人	47.1%	5.9%	0.0%
	小倉南区	19人	42.1%	5.3%	0.0%
	若松区	4人	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	9人	22.2%	0.0%	0.0%
	八幡西区	13人	15.4%	0.0%	0.0%
	戸畑区	5人	0.0%	0.0%	0.0%

市が行う健康づくり・介護予防(フレイル予防)事業に望むことでは、「自分の健康状態や認知機能の状態をチェックする場や機会の充実」が 64.9%で最も多く、次いで「市民センターなど身近な地域で気軽に参加できる場や機会の充実」が 58.1%、「リハビリテーション専門職などの専門家から助言・指導を受けられる場や機会の充実」が 41.9%となっています。

※その他の内容では、「まずは周知」、「特にない」との回答がありました。

(認知症支援・介護予防に関する意見)

問 16 その他、認知症支援・介護予防に関するご意見等がございましたらご記入ください。

25件のご意見をいただきました。

- 自分自身も福祉関係者として、認知症予防・介護予防には高齢になっても体や脳に良質な刺激が持続的に加わる質の高い生活を築いていくことが重要と考えております。福祉施設でもそのような取り組みがなされておりますが、まちづくりの面でも例えば歩きたくなる快適な道がある、地域のボランティア活動を行う中で脳を使うなど、生活の中で自然と良質な刺激が得られる・欲しくなる仕掛けが所々にあると望ましいと考えます。認知症支援の取り組みをどうやって知っていただくかも悩ましい問題ですが、本人やご家族にも知っていただくためには駅などで大きく知らせる、若い方々の力を借りるなど幅広い対策が必要なのだと思います。これまで様々なアンケートにお答えさせていただきましたが、毎回考えさせられることが多く、いつも自分なりに調べたり考えたりして期限直前の提出となってしまう大変ご迷惑をおかけしました。一旦これまでありがとうございました。
- 認知症は自分自身には自覚がない病気なので、一人暮らしの場合にどうするのがよいのかを知りたいです。
- 若い世代も含めて取り組む必要があると感じています。高齢者向けだけでなく、教育現場も一緒になって、高齢化社会において、誰も取り残されることのないように、共に上手に生きていく社会、北九州市であってほしいと思います。
- 認知症については、自分の知らないことが多くびっくりした。もっとPRして周知してもらいたい。健康づくりについては、講演会や場所の充実や市政だよりで特集を組んでももらいたい。
- 年齢にもよると思うが、予防の意思があってもなかなか続かないかもしれません。動きたがらない人も多いから。認知症支援も「地域包括支援センターに尋ねていけばいいのに」と知っている方々は言いますが、窓口を訪ねることのハードルは高い気がします。一度訪ねることができればスタッフの方々が親切に支援くださるのでしょうが、支援を求める気軽さは難しいと感じます。
- 成年後見制度についての普及啓発も認知症と密接な関係である。講演については、単に認知症に関わることだけではなく、意思決定支援と重ねた説明が重要であると考えます。
- 認知症に関して、北九州市の現状、取り組み等知らないことが多いことを知りました。認知症の方への接し方など、学ぶ場が欲しいと思いました。
- ヘルパーの資格を持っていて、現在両親の介護をしているため特にありません。

- このアンケートで市が認知症高齢者等の安全確保事業を行っていることを知り早速、情報を取りたいと思います。ありがとうございました。
- 支援して欲しい気持ちは強いですが、どうしたら良いのか分かりません。市民センター等の公的機関は何となく敷居が高いので、近寄りやすい雰囲気を作ってくれるとありがたいです。
- 市の主催されるフレイル予防行事に参加しており、今後も開催されれば積極的に参加したい。
- 気軽に出かけられる場所、相談できる手段が常にあることを助ける、助けられる人双方が認識できると良いと思う。
- 高齢の母がいるので、そろそろ知識を入れないといけないと思っているところです。
- 私の母は認知症で、人が集まるところを嫌いました。家で一日中介護できず、本人嫌々ディサービスに通い始めましたが、友達ができると少し楽しくなり、しばらくは休まず通っていました。しかし、長くは続きません。今の高齢者は、男性はひたすら働き、女性は家を守りの世代ですので、人付き合いが苦手なのは当たり前なのかもしれません。母もケアマネさんに声を掛けられながら、行ったり休んだりを繰り返しました。一度、見学をしたことがあります。学校のように皆同じことをしている印象を受けました。介護者が不足していることも要因とは思いますが、もう少し自由があってもいいのではないかと。もし将来私がディサービスに通うなら、プライベート机とイスがあり、その日やりたいこと、例えば絵画やお習字、パソコン、ゲームなどをチョイスできて、その机で楽しむことができる所に行きたいです。食事やおやつの時だけみんなとおしゃべりです。
- 認知症と身近に経験することがなく生活してきましたが、親世代も高齢者になり、もっと積極的に情報収集や、取組みについて知りたいと思いました。
- 今後必ずやってくる親の介護。身内だけで悩むのではなく、誰かに相談できる環境を作っておかないといけないなと思っています。
- フレイルの言葉を知らない方がまだまだ多いと思うので、まず関心を持っていただくために地域活動などで正しく理解してもらおう。歳をとると家を出たがらないのが良く無い事を認識してもらおう。
- 小 4 の娘が小学校で認知症サポーターについて学んできました。困っている高齢者の方がいたら声をかけてあげよう！と張り切っているのですが、このご時世、どこまで声をかけていいのか悩みます。知らない人は正直怖いし、実は困ってないのに間違えて声をかけて不快な思いをさせてしまう場合もあると思います。線引きがすごく難しく、正解がわかりません。
- GPS 付の機器は良いと思う。

- 野菜をたくさん食べたことが数値で分かる計測器(名前を忘れた)や認知機能を計測する装置などを市民センターに設置して、気軽に利用できるようにする。
- 認知症支援・介護予防に関する市の広報活動が見えにくい。市政だよりに記載されていることがあるが、真剣に読んでる人は少ないと思う。もっと、TV・ネット・街中の医療施設・スーパー・駅・商店街など、人目に付く場所での広報活動が必要。自分で探すより、勝手に目に入ってくるようにしてほしい。本件の認知症支援・介護予防に関するだけでなく、他の活動も同様。
- 本人のサポートもだけど、家族が疲弊します。家族へのサポートがあるといいと思います。
- 民生委員や福祉協力員の手当を上げて、地域の見守り活動を拡充してほしい。
- おかげさまで80歳を超える母は元気です。元気の源は地域のグランドゴルフと市民センターの倶楽部参加。和菓子教室では、若い方と一緒に活動しているらしく、「若い人が手際よく何でもやってくれるよ」と、楽しいそうです。地域の活動が活発で、サポートが行き届いているおかげです。
- もっと市民が協力できるようになるといいですね。

IV 全体考察

北九州市では、およそ4万2千人の高齢者が認知症と推計されており、今後も増加することが見込まれています。また、高齢者のみの世帯が多く、認知症に関する取り組みは喫緊の課題です。

北九州市では、国が作成した「認知症推進5か年計画(オレンジプラン)」及び「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」で示された考え方を踏まえ、「北九州市認知症施策推進計画(通称:北九州市オレンジプラン)」を平成27(2015)年3月に策定しました。この計画は、平成30(2018)年度からは「北九州市いきいき長寿プラン」に包含し、これに沿って総合的な認知症施策を推進してきました。

更なる高齢化の進展に伴い、今後も認知症高齢者数の増加が見込まれることから、国は令和5(2023)年6月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法(認知症基本法)」を公布し、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、国が新たに認知症施策推進の基本計画を定め、総合的かつ計画的に推進することとしています。

本市においては、このような国の動きを注視しながら、認知症基本法で掲げる「認知症の人を含めた国民一人一人が共生する活力ある社会の実現」に向け、認知症施策の充実に取り組めます。

1 調査の目的

今回のアンケートは、今後の本市の認知症支援・介護予防に関連する事業をさらに推進していくために実施したものです。

2 調査結果

【北九州市の高齢化について】

政令指定都市の中で、北九州市が最も高齢化率が高いことを「知っている」は85.1%です。前回の令和5年度は、「知っている」が79.0%のため、認知度が上昇していることが分かります。

【認知症について】

市が行っている認知症事業のうち、「知っている」という回答は「認知症サポーター養成講座」が35.1%、「認知症カフェ」が31.1%、「高齢者見守りサポーター派遣事業」が20.3%となっています。

「認知症カフェ」を知っている方のうち、実際に利用したことがあるかどうかを尋ねたところ、「利用したことがある」(8.7%)は1割に満たない状況です。

市が行っている交流会のうち、「知っている」という回答は、「認知症ご本人交流会」が20.3%、「認知症・若年性認知症介護家族交流会」が17.6%となっています。

市が行っている認知症高齢者の安全確保事業のうち、「知っている」という回答は、「北九州市見守りシール交付事業」が17.6%、「認知症行方不明者等SOSネットワーク

システム」が 16.2%、「認知症高齢者等位置探索サービス事業」が 12.2%となっています。これらの事業は、認知症の方ご本人や実際に認知症の方がいるご家族などへの支援事業であることから、他の事業に比べて認知度が低くなっていると推察されます。

また、認知症に関する相談窓口の認知度では、「ものわすれ外来」(73.0%)が最も高く、「かかりつけ医」(55.4%)、「地域包括支援センター」(44.6%)、「どこに相談してよいかわからない」(10.8%)という結果になりました。「どこに相談してよいかわからない」は、男性で 18.2%と 2 割近くに達しており、特に男性への周知啓発の取り組みが必要であると考えられます。

高齢者の増加とともに、認知症高齢者も増えてくることが想定されるなかで、認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活していくためには、家族だけではなく、地域全体で認知症の方を見守り、支えていく体制を構築していくことが重要であり、事業の周知啓発に、今後より一層取り組む必要があると考えられます。

【健康づくりや介護予防(フレイル予防)について】

フレイルという言葉も意味も理解している方は 28.4%と3割弱で、「内容も言葉も知らない」(51.4%)が過半数を占めるなど、認知度が高いとは言えないことが分かりました。前回の令和5年度は、「内容も言葉も知っている」が 33.6%のため、認知度が低下していることが分かります。

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に関する情報を何から得ているか尋ねたところ、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が 54.1%、「インターネット(Web 記事や SNS など)」が 48.6%であるため、今後は情報源であるマス・メディアやインターネット(Web 記事や SNS など)等を活用して、一層、周知啓発に力を入れることが必要と考えられます。

健康づくりや介護予防(フレイル予防)で、インターネットやスマートフォンアプリ、介護ロボットなどを活用したことがあるかについては、「実際に活用したことがある」は 2.7%で、実際に活用している方は非常に少ない結果となりました。ただし、「知らないが興味はある」(45.9%)が最も多くなっており、関心が高いことが伺われます。

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に取り組んでいるかについては、「はい」が 43.2%であり、前回の令和5年度は、41.3%のため、健康づくりに取り組んでいる人の割合が増加していることが分かります。なお、具体的な取り組み内容では、「定期的に健康診断を受けている」(65.6%)が最も多く、「栄養バランスのとれた食事をとっている」、「一人で公園で体操をしたり、ウォーキングなどを行っている」、「口や歯の手入れをこまめに行っている」で 50%を超えています。

「特に取り組んでいない」理由では、「時間的な余裕がない」(47.6%)が最も多く、次いで「どのようなことに取り組んだらよいか分からない」(38.1%)となっています。

隙間時間で実施できる健康づくりや介護予防(フレイル予防)に役立つ運動の方法など、具体的な情報を提供していくことも必要であると考えられます。

市が行う健康づくり・介護予防(フレイル予防)事業に望むことでは、「自分の健康状態や認知機能の状態をチェックする場や機会の充実」(64.9%)が最も多く、「市民センターなど身近な地域で気軽に参加できる場や機会の充実」(58.1%)で 50%を超えています。

身近な場所で、自身の健康や認知機能をチェックできるような住民参加型のイベントが求められていることが伺われます。

【まとめ】

今回のアンケートの結果から、本市における高齢化の現状について非常に認知度が高いことが分かりましたが、認知症事業の認知度は低くなっていることが分かりました。

今後さらに高齢化が進んでいくとされている中で、必要としている人に必要なサービスを提供できる体制づくりや、普及啓発の重要度が高まっていると考えられます。健康づくりや介護予防(フレイル予防)に関する情報入手先として、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などのマス・メディアや、インターネットを用いたソーシャルメディアと答えた方が多いことから、これらの媒体を用いた広報の重要性が高まっていることが分かります。

今回のアンケートの結果については、今後の本市の認知症支援・介護予防施策の立案のための基礎資料として活用させていただき、支えあいやつながりで誰もが自分らしく暮らしていける「認知症にやさしいまち」を目指して、認知症支援・介護予防の事業を推進してまいります。

【市政モニターに関すること】

総務市民局広聴課(TEL:582-2527)

【アンケートに関すること】

保健福祉局認知症支援・介護予防課(TEL:582-2063)

令和7年2月28日

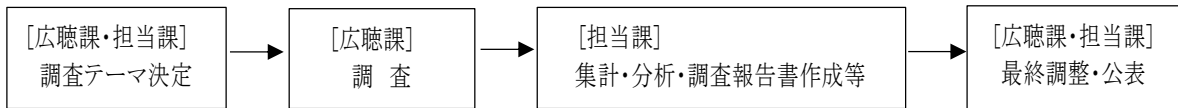
総務市民局広聴課

市政モニター制度について

1 市政モニター制度の概要

市の施策を進めるうえで、満足度や実感などの市民の声を参考とするため、18歳以上の市民の方（定数150人以内）を対象に公募し、市政モニターとして様々な分野のアンケートにご協力いただいています。

2 市政モニター調査の作業工程について



3 令和6年度 市政モニターアンケート調査 実施予定及び公表予定

回	実施時期	件名	担当課	回収率	公表予定
1	6月3日～6月14日	北九州市の観光振興について	都市ブランド創造局 観光課	89.6%	8月
2	6月17日～6月28日	終活に関する調査について	保健福祉局 長寿社会対策課	84.4%	9月
3	7月1日～7月12日	北九州市のブランド農林水産物について	産業経済局 農林課・水産課	86.5%	9月
4	8月13日～8月23日	生涯学習に関する意識調査	総務市民局 生涯学習課	80.2%	11月
5	8月26日～9月6日	北九州市の食の魅力について	産業経済局 サービス産業政策課	81.3%	11月
6	10月15日～10月21日	暴力団排除について	総務市民局 安全・安心推進課	81.3%	1月
7	12月6日～12月16日	認知症支援・介護予防に関する意識調査	保健福祉局 認知症支援 ・介護予防課	77.1%	2月
8	12月17日～12月27日	北九州市の空家等対策に関する意識調査	都市戦略局 空き家活用推進課	—	3月
9	2月25日～3月7日	公共交通の利用状況に関する調査	都市戦略局 都市交通政策課	—	5月

※上記については、変更の可能性があります。